

一般質問 船橋市議会定例会での中谷の一般質問と船橋市の回答をピックアップしております。

## 生理の貧困について

船橋市では生理用ナプキンの無料提供などに取り組んでおられます。現在までの取り組みと成果、今後の課題についてお伺いします。

生理用品無料提供サービス事業の OiTr(オイテル)については、令和4年(2022年)3月3日からフェイスビル5階の個室トイレ内に4台設置いたしました。設置開始以降の総利用数は、令和6年1月末時点の集計で5,403枚の利用があり、月によりバラつきはあるものの利用枚数は増えている状況です。

ナプキンの利用枚数が増えているとのこと。今後、公共施設や学校などにも、ナプキンを置いていく方法でご検討くださっているとのことなので、ぜひ進めていただければと思います。

### ◇新人議員1年生の気付き◇

先日、起業している女性の方々にお集まりいただき、船橋市でどんな女性支援が必要かをざっくばらんにお話いただく座談会を行いました。座談会では、自分が子育てや更年期、孤独孤立などで困った経験から、困っている女性を助けたい、応援したいというお声を沢山いただきました。

エステやネイルサロン、美容院などは、一対一でお客様とお話しすることが多いので、女性達のお悩みを聞く場所になっています。生理の貧困やフェムテック、フェムケアについての取り組みに参加してくださる女性のセンター制度をつくり登録していくなど、船橋市の女性達と連携した取り組みについて提案しました。こちらについては、引き続き取り組んでいきます。

## 活動の一部をご報告します



▲スロGOMIワールドカップ2023予選にて



▲国際女性デーに行われた「第1回ミモザの会」にて『女性のエンパワーメントで「なりたい自分」になる』というお話をさせていただきました

発行者／中谷あやの  
船橋市宮本2-13-7 潟口ビル4階  
<https://nakataniayano.com/>  
047-411-7606  
info@nakataniayano.com

※この報告書はチラシではありません。中谷あやのの公約に基づく公式の船橋市議会報告書です。

## フェムテック・フェムケアについて



女性は多くの健康課題を抱えています。

生理、妊娠、出産、更年期障害といった女性特有の悩みの緩和策として、「フェムテック」や「フェムケア」が注目を集めており、対象ジャンルは生理、不妊治療、出産、育児、子育て、セクシャル・ウェルネスなど多岐に渡ります。

これらの悩みは個人差があり、誰かに相談することではないとの思い込みから我慢する女性も多くいます。

経済産業省ではフェムテック等サポートサービスの補助金が令和3年度より開始され、国としての取り組みも始まっています。船橋市での現在までの取り組みと成果、今後の課題についてお伺いします。



女性が抱える健康課題に対する市の取り組みとして、「女性の身体のリズムやライフステージの変化によって機能が弱くなる骨盤底筋(こつぱんていきん)を整えるヨガレッスン」や「月経痛・更年期のツラサについて、助産師に聞くホルモンの話」の講座、「心と体をほぐす体操付き更年期講座」を開催しています。

# なでしこ通信 市政レポート

## 船橋市議会議員

# 中谷 あやの

なかたに

<https://nakataniayano.com/> 中谷あやの



ホームページ

Instagram



## 目次

- P1…●地震への備えについて
- P2…●メディカルタウン構想・医療センター移転について
- P3…【一般質問】 ●メディカルタウン構想・医療センター移転について  
●医療センター建設費の中の地盤改良費について  
●ひとり親・子育て支援について
- P4…【一般質問】 ●生理の貧困について  
●フェムテック・フェムケアについて  
●活動一部紹介「なでしこサロン」についてなど

## 中谷あやのプロフィール

- 2003年 中谷行政書士事務所開業
- 2007年 『CTC行政書士法人』設立
- 2012年 女性コミュニティ『微魔女会』スタート
- 2015年 『NPO法人やまとなでしこ』設立
- 2022年 『一般社団法人やまとなでしこ』設立
- 2023年4月 船橋市議会議員選挙にて当選



## 【千葉県で地震が多発】地震に備えましょう

千葉県東方沖で地震活動が活発になっており、船橋市においても震度3を観測しました。

気象庁が発表した地震調査委員会の調査結果によると、「今後も引き続き地震が発生し震度5弱程度の強い揺れが観測される可能性があるため、強い揺れに注意が必要である」とのことです。



## 地震への備え。水と非常用トイレを備蓄していますか？

大規模地震や水害などの自然災害によりライフラインが寸断されてしまったときに、真っ先に困るのが「水」の問題です。被害が広範囲に及ぶと、各家庭に水が行き渡るようになるまで数日から1週間、または1ヶ月以上の時間がかかる場合もあります。

船橋市では、全壊もしくは焼失により避難する想定の人数39,000人の3日分の備蓄品を順次整備しています。人口約65万人に対して、備蓄品は39,000人分です。

避難所に入れない在宅避難の方は、自分で備蓄しておく必要があります。

災害時に必要な水は1日1人当たり3Lですが、ある調査によりますと、最低3日分の水を用意できている人はたったの24%だそうです。

また、大きな地震が発生すると、下水道管が壊れてしまい下水が流れなくなることがあります。下水が流れなくなると、下水道の使用自粛や使用制限のため、トイレが使えなくなりますので、非常用トイレの用意も必要です。トイレがいつも通りには使えなくなることで、水分摂取を控えて体調を崩す場合もあります。

防災備蓄は7日分が推奨されており、『1日5回×7日間×家族の人数分』の非常用トイレを備えておくと安心です。

今年に入ってから、会う人会う人に「ご自宅の水のストックどれくらいありますか？」と聞いているのですが「ちょうど切らしてしまって水のストックがない」という方も結構いらっしゃいました。水とトイレ、大事です！

船橋市の備蓄は39,000人分しかないということを船橋市民の皆さんに広く知りたいと思います。

＼お気軽にご参加ください／

## 中谷あやのと一緒に！「なでしこタウンミーティング」

日時：毎週金曜日 14～16時

場所：なでしこサロン(大神宮下駅徒歩10秒)



アクセス案内

# 今、船橋市は大きなターニングポイントにいます!! メディカルタウン構想・医療センター移転について知っていますか?

災害拠点病院である船橋市立医療センターの移転先の海老川上流地区は、船橋市の中央部に位置し、中心市街地にも近く、東葉高速線が東西に走るという利点がありますが、災害という視点で見ると、大変心配な立地です。

建て替え  
予定地への  
不安

海老川上流地区は、豪雨の時は周辺から大量の水が流れ込む低湿地(遊水地)であり、著しく軟弱な地盤です。  
線状降水帯などの大雨が降った際の流域の洪水リスクや、大きな地震の際は、地盤沈下や液状化などの災害リスクがあります。

災害拠点病院  
としての  
問題点

災害拠点病院は『24時間いつでも災害に対する緊急対応ができ、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を持つこと』が要件となっています。  
洪水、地盤沈下、液状化等の災害リスクがある土地に建つ病院で、24時間いつでも災害に対する緊急対応ができるのか。

防災を研究する各専門家からもさまざまなリスクが指摘されています。

建設費  
の高騰

軟弱地盤のため、地盤改良費が約27億6千万円かかることや、約255億円だった工事費が570億円に高騰するなど財政負担の問題もあります。

住民投票を  
求める  
署名

船橋市立医療センターの移転について、2023年10月に住民投票を求める署名活動が行われましたが、規定数に226筆届きませんでした。でも、この署名活動をきっかけに、災害リスクや工事費の高騰について知った市民の方も多く、「ぜんぜん知らなかった」「大丈夫なの?」というお声が沢山届いております。

医師連盟  
からの  
要望書

千葉県医師連盟船橋支部から、医療センター建て替えに関する要望書が提出されました。工事費の高騰や液状化対策への説明不足などの心配から、船橋市議会での十分な議論を要望されています。

住民監査請求  
の提出

住民監査請求では医療センター用地購入(57億4千万)は高すぎ、災害も起こすとして、支払停止を求めています。

ぜひ電子署名に、ご協力お願いいたします!▶



## ◆私の考え方

船橋医療センターは老朽化しているため、建て替えは必要だと思います。ただし、災害リスクのある海老川上流地域への移転には反対します。いつ大災害が起きた場合でもおかしくない昨今、リスクを過小評価するのは危険です。災害拠点病院は立地の良い安全な場所に建てるべきだと私は思います。またメディカルタウン構想に多額の予算が組まれる中で、船橋市では福祉サービスの予算が削られています。予算は、声の小さい人、困っている人、弱い立場の人の声も拾い上げ、もっと人にやさしいことに、バランスよく使うべきだと思います。

## ◆今後の議員活動

今年に入り、最大会派の『市民民主連合』に入らせていただきました。受け入れてくださったことに、大変感謝しております。また目指す未来像の違いなどから、今年の3月に国民民主党を離党いたしました。船橋市民の方々のお声を政策に反映させるため、小さな声を拾って、市政に届けていきたいと思います。『誰一人、置き去りにしない社会をつくる。』地方議員として、できることをひとつひとつ積み重ねていきたいと思います。



船橋市の説明は  
こちらをご覧ください。

一般質問 船橋市議会定例会での中谷の一般質問と船橋市の回答をピックアップしております。

## メディカルタウン構想・医療センター移転について



私はこの構想について、ハザードマップの浸水想定区域での「土地区画整理事業」であることを知らず、「新しい駅ができる」という認識でした。

メディカルタウン構想について詳しく知ったのは、選舉に挑戦した際に市民の方々から浸水洪水の心配のお声が沢山届いたことがきっかけです。そこで伺います。広報ふなばしで、説明会の告知ではなく、海老川上流地域のまちづくりメディカルタウン構想について、特集を組まれたことはありますでしょうか?



広報ふなばしでは、海老川上流地区のまちづくりに関する情報として、これまで説明会の告知や新病院の基本設計の概要を掲載してきましたが、特集記事などを掲載したことはございません。



説明会を何度も開催しても、そもそも海老川上流地域のまちづくりメディカルタウン構想を知らない市民は興味を持たないですし、説明会に参加することはないと思います。

多額の税金を使って行う事業です。多くの船橋市民がこの事業について知ることができるように、広報ふなばしの1面で特集していただくことを要望いたします。

### ◇新人議員1年生の気付き◇

上記の一般質問が、読売新聞で記事になりました。市民の皆様に情報をしっかりと伝えるため、広報紙の一面での紹介を提案しました。行政の説明・情報提供は市民の命と財産を守るために極めて大切な事だと思います。

その後、広報ふなばし(2023年10月15日 No.1579)で、1面ではありませんでしたが、医療センターについての特集が組まれました。

メディカルタウン構想がはじまってから8年間、広報ふなばしで特集が組まれなかったことは驚きました。船橋市の予算が何に使われているのか?何に使われようとしているのか?市民の皆様に知りたいだけの働きかけています。



## 医療センター 建設費の中の地盤改良費について



医療センター用地のボーリング調査はいつ行われたのか?また調査前と調査後の、それぞれの地盤改良費の価格と差額についてお伺いします。



新病院予定地の地盤調査(ボーリング調査)については、令和4年度に実施した基本設計業務委託の中で行っており、令和4年9月から実施しました。

次に、調査前後での地盤改良費の差についてですが、平成30年度にまとめた基本計画では、地盤改良費として約12億円見込んでおります。

これは、具体的な地盤調査結果や設計を踏まえたものではなく、他病院事例を参考として算出したものです。

令和4年度にまとめた基本計画では、地盤改良費として約35億円を見込んでおります。

これは、地盤調査の結果に基づき、工法や改良範囲などを具体的に検討して算出したものとなります。なお、地盤改良については、災害拠点病院として、大きな地震が起きた際でも病院機能を維持していく、災害医療を行う上で必要と考えた液状化対策などを行うこととしています。

### ◇新人議員1年生の気付き◇

地盤改良費の予算は、具体的な地盤調査結果や設計を踏まえたものではなく、他病院事例を参考として算出されたとのことです。予算は具体的に緻密に計算して算出されているのかと思っていました。予算を審議する場合は、その予算がどのように具体的に計算されたものなのか、慎重に確認していきたいと思います。

## ひとり親・子育て支援について



メディカルタウン構想の賛否を問う住民投票の署名集めをきっかけに、行財政改革で「母子家庭父子家庭等高等学校等修学援助金」が廃止されたことを知ったひとり親の方からのお声をご紹介します。

この援助金を受給されていたことで、高校生はお金がかかるし、子供の部活に必要なお金など、大変助けていました。今のひとり親の方々はこの援助金がなくなって大変だと思うと心を痛めておられました。

行財政改革によって廃止された母子家庭等高等学校等修学援助金を廃止した理由と、廃止について受給者に対し、ヒヤリングやアンケートを行ったかについて伺います。



母子家庭父子家庭等高等学校等修学援助金について、行財政改革の取り組みの中で検討した結果、国の制度である高校生等奨学給付金が増額されたことにより、廃止させていただきました。その代替となる支援として、令和4年度から、ひとり親家庭高校生キャリア支援事業を行うことで、直接児童に届く支援策を行っております。

廃止について、受給者に対しヒヤリングやアンケートを行ったかについてですが、手当を受給されている方を限定としてアンケート等は行っておりませんが、行財政改革の取り組みの中で、市民の皆さんにパブリックコメントとウェブアンケートを行っております。

### ◇新人議員1年生の気付き◇

行財政改革の取り組みの中で、パブリックコメントとウェブアンケートを行ったので、受給者を限定としたアンケートなどは行っていないとのこと、とても残念に思いました。

当事者じゃないとわからないことは沢山あります。市民の声を丁寧に聞いていくことが大切かと思います。今後なにか事業を廃止する際は、かかわりのある市民の方々の声を真摯に聞くようにしていただくことを要望しました。